

参考資料 2

学校図書館支援センター推進事業 平成18年度中間報告書

I 調査研究事項

- 1 調査研究会議の開催
担当指導主事、学校図書館支援スタッフ、教育委員会の関係部課長、協力校の校長による調査研究会議を開催し、事業の進捗状況を確認すると共に、学校図書館支援センターの機能を充実させるための研究を進める。
- 2 学校図書館協力員の配置
市内全中学校に学校図書館協力員を配置し、生徒の読書活動を支援する。
- 3 学校図書館に係る情報の収集・提供
学校図書館の機能を活用した学習指導や読書活動に係る情報の収集・提供を行い、学校図書館の活性化を図る。
- 4 学校図書館運営計画の作成
各学校ごとに学校図書館運営計画の作成を行うために、学校図書館の研究部会である「豊かな読書活動部会」で作成した原案の普及をし、具体的なアドバイスをする。
- 5 学校図書館データベースの利用促進
完成した学校図書館データベースの利用を促進して、学校図書館の蔵書を共有して利用するための検討を進め、運用実験を行う。
- 6 相互貸借の実施
効果的な物流の在り方を検討し、各学校及び市立図書館との相互貸借を実施する。
- 7 司書教諭の研修
司書教諭の研修を計画的に実施すると共に、市立図書館における図書館業務の体験研修を実施することによって、公立図書館との連携を深め、現場体験によって図書館業務を体系的に理解してもらおう。
- 8 学校図書館運営の相談及び指導
学校図書館を巡回し、各学校図書館の実態を把握すると共に、学校図書館運営の相談及び指導を行う。
- 9 学校図書館ボランティア連絡会の開催
学校図書館ボランティア連絡会を開催して、ボランティアの研修をすると共に、お互いの連絡を図ることによって活動の推進を行う。
- 10 学級文庫団体貸出
小平市立図書館の団体貸出用の図書を、学級文庫として各学校に団体貸出を行い、読書活動の推進を図る。
- 11 中学校区内の小学校学校図書館の実情調査
学校図書館協力員は、中学校区内にある小学校の学校図書館実情を調査し、連携を図ると共に、必要に応じて読書活動の支援をする。
- 12 学校図書館地域開放の研究
学校図書館が地域に開放され、地域の学習及び情報拠点として利用されることを、研究を進める。

Ⅱ 調査研究において特に重点を置いたところ

小平市内の中学校図書室の活用を図るため、図書館協力員の配置を行い生徒の読書活動を支援すること、図書館を活用した調べ学習や教科の学習を支援するための効果的な物流の在り方を検討し、図書相互貸借実施のための調査研究に重点をおいた。

Ⅲ 調査研究の取組の実績について

1. 学校図書館協力員の配置

市内全中学校に学校図書館協力員を配置し、生徒の読書活動の支援を行うとともに中学校図書室の開室を促進するため、市内中学校長に依頼し、各中学校1名から3名の学校図書館協力員全20名を決定した。事業実施前には中央図書館で事前研修を行うとともに月1回研修日を設け、実務研修、事務打合せ等を行いながら、学校、司書教諭の指導のもとに学校図書室の運営を行った。

(1) 学校図書館協力員の中学校図書室への配置経過

① 中学校長会への事業説明

日 時：平成18年10月19日(木)

場 所：小平市立小平第七小学校

内 容：学校図書館支援センター推進事業、学校図書館協力員の配置について説明

④ 学校図書館協力員の研修説明会実施

日 時：平成18年10月31日(火)～11月2日(木) 3日間

場 所：中央図書館 視聴覚室・会議室

内 容：図書館業務全般・学校図書館システム・図書検索・図書修理等に関する研修

⑤ 中学校への配置

日 時：平成18年11月6日(月)から3月15日(木)まで週3日

勤務場所：小平市内各中学校図書室および小平市中央図書館

(2) 学校図書館協力員研修会

11月から3月までに全5回、午前9時30分から正午まで(2時間30分)行った。

日 時：11月16日(木)、12月21日(木)、1月17日、2月15日(木)、3月15日(木)

場 所：小平市中央図書館 視聴覚室・会議室

内 容：学校図書館システム(パソコン研修)・図書検索・利用教育(ビデオ学習)等の研修、各学校図書室の利用状況報告確認

2. 学校図書館に係る情報の収集・提供

学校図書館の機能を活用した学習指導や読書活動に係る情報の収集・提供を行い、学校図書館の活性化を図るため、調査研究会議委員による先進市の視察等を実施した。

(1) 先進市の視察

① 市川市視察

日 時：平成18年12月15日(金)

視察先：市川市学校図書館支援センター・市川市立中央図書館・富貴島小学校

内 容：支援センター業務内容、配送システム、学校図書館活用事例等見学

② 京都視察

日 時：平成19年1月18日(木)・19日(金)

視察先：八幡市立美濃山小学校・立命館小学校図書館視察

内 容：ブックウォーク・学校図書館活用事例の見学

③ 鶴岡市視察

日 時：平成19年1月30日(火)・31日(水)

視察先：山形県鶴岡市立朝陽第一小学校・鶴岡市立図書館視察

内 容：学校図書館活用事例、図書ボランティアの活動、学校図書館支援見学

(2) 調査研究のための支援スタッフの派遣研修

① 学校図書館支援センター研修会（全国学校図書館協議会）

日 時：平成 18 年 11 月 10 日(金)

場 所：学校図書館センター（文京区）

② 第 8 回図書館総合展フォーラム（TRC主催）

日 時：平成 18 年 11 月 20 日(月)

場 所：パシフィコ横浜 アネックスホール（横浜市）

③ 第 8 回学校図書館セミナー(全国学校図書館協議会主催)

日 時：平成 18 年 11 月 21 日(火)

場 所：パシフィコ横浜 アネックスホール（横浜市）

(4) 広報の発行

① 「小平市学校図書館支援センター推進事業だより」(小平市中央図書館発行)

1 号 平成 18 年 10 月 23 日発行

② 「豊かな読書活動だより」(学校図書館ボランティア連絡会発行)

No.3-2 平成 18 年 10 月 31 日発行

No.4-1 平成 19 年 1 月 26 日発行

No.4-2 平成 19 年 2 月 16 日発行

3. 市内小中学校への団体貸出の実施

(1) 学級文庫団体貸出

小平市立図書館の団体貸出用の図書を、学級文庫として各学校に 1 クラス 50 冊の団体貸出を行い、読書活動の推進を図る。児童がいつでも本に接し、読書を楽しむことができる環境整備を行った。

(2) 教科等の学習支援のための特別団体貸出

市内小中学校の教科の学習・総合学習に対応し、市立図書館の図書の貸出により、児童・生徒の学習を支援した。また平成 19 年 1 月からは学校図書館図書配送システムの試行による貸出を行い、小中学校からの図書の配送をしてほしいという要望に応えることができた。

4. 相互貸借の実施

図書館を活用した調べ学習や教科の学習を支援するための効果的な物流の在り方を検討するため、市内小中学校と市立図書館を結ぶ学校図書館図書配送システムの試行を行った。

日 時：平成 19 年 1 月 13 日(水)から 3 月 14 日(水)までの毎週水曜日、9 回実施

場 所：中央図書館および花小金井図書館と小平市内小中学校

内 容：市内小中学校より市立図書館へ依頼のあった教科学習用図書の貸出

概 要：小学校 13 校・中学校 4 校がこの試行に参加

5. 学校図書館運営の相談および指導

(1) 学校図書館運営の相談及び指導

① 学校図書館相談嘱託職員の市内小中学校への巡回相談受付

中央図書館サービス係の学校図書館相談員が市内の小中学校を訪問巡回し、各学校図書室の実態を把握すると共に、学校図書館運営の相談を受け付け、中央図書館サービス係と児童サービス担当者と一緒に、相談に対する支援を行った。

② 学校図書館データベースの利用促進支援

学校図書館相談員は、学校図書館システムの活用、データベースの利用促進などについて学校図書館協力員への支援を行なう、司書教諭や図書担当教諭の求めに応じて授業時における検索援助、学校図書室の蔵書点検等を行った。また、図書データの入力などについては中央図書館が書誌作成等の支援を行った。

③ 学校図書館支援スタッフの支援

支援スタッフは、学校図書館システムを活用して、市内小中学校図書室の蔵書構成の確認を行い、学校図書室を訪問し、助言等を行った。

④ 学校図書館改善指導

学校図書館の専門家、高橋元男氏（放送大学教授）を招き、学校図書館の改善に関する指導を受け、図書室の図書の分類、排架の変更などを行った。

【第1回】

日 時：平成 18 年 11 月 3 日(金)～5 日(日) 3 日間

対 象：小平第十四小学校図書室

内 容：学校図書館の図書の分類・整理指導

【第2回】

日 時：平成 18 年 12 月 10 日(月)

対 象：小平第三小学校図書室

内 容：学校図書館の絵本の分類指導

(2) 学校図書館運営計画の作成

支援スタッフと中央図書館サービス係は、市内の小中学校を訪問し、図書館利用に関する資料を収集し、支援スタッフは学校図書館運営計画の作成を行うために、具体的なアドバイスを行った。今年度は、学校図書館を利用した授業計画指導を実施した。

日 時：平成 19 年 1 月 24 日(水)

対 象：小平第十五小学校

内 容：「図鑑の調べ方」研究授業（小学校1年生）

講 師：日台利夫氏（元静岡大学教授）

(3) 司書教諭の研修

司書教諭の研修を計画的に実施するとともに、市中央図書館において図書館業務の研修を企画することによって、市立図書館との連携を深め、図書館を活用した授業計画の実施を図った。今年度は、小平市学校図書館司書教諭等研究協議会の定例会時に研修会を実施した。

日 時：平成 19 年 2 月 13 日(火)

場 所：小平第二中学校図書室

内 容：「総合的な学習と学校図書館の活用」

講 師：日台利夫氏（元静岡大学教授）

6. 調査研究会議の開催

担当指導主事、教育委員会の関係部課長、協力校の校長、図書館職員、学校図書館支援スタッフによる調査研究会議を開催し、事業の進捗状況を確認すると共に、学校図書館支援センターの機能を充実させるための研究を進めた。

7. 中学校図書室の実態調査

学校図書館協力員を配置したことから、中学校の学校図書室活用に関する調査を行った。

(1) 中学校図書室 開室時間調査

学校図書室の開室日数の調査を行った結果、前半の4月から7月までは延べ 372 日開室したのに比べ、学校図書館協力員が配置された後半の 10 月から 1 月までは延べ 521 日開室されている。

(2) 小平市学校図書館支援センター推進事業に関するアンケート調査

学校図書館支援センター推進事業に関する調査を市内全中学校8校の校長、副校長、主幹、司書教諭41名に対し行ったが、学校図書館協力員の配置についての「図書室に学校図書館協力員を措置したことは生徒の読書量の増加に効果があったか」という質問に対し、78%が効果があったと回答している。しかし「年度途中での措置で活用の計画が不十分」「教師へのアピールがもっと必要」という意見もあった。

8. 学校図書館ボランティア連絡会の開催

学校図書館アドバイザーを中心に学校図書館ボランティア連絡会を3回開催し、ボランティアの研修を行うとともに、互いの連携を図ることによって学校図書館活動へのボランティア参加の推進を図った。

【第1回】

日 時：平成18年7月5日（水）

場 所：中央図書館 視聴覚室

参加者：11校 20名

【第2回】

日 時：平成18年10月31日（火）

場 所：小平第三中学校 図書室

参加者：11校 27名

【第3回】

日 時：平成19年2月16日（金）

場 所：鈴木小学校 図書室

参加者：11校 16名

IV 調査研究の取組の成果について

1. 学校図書館協力員の配置について

平成18年11月から、市立中学校8校に週3日、1名から3名の学校図書館協力員を1日に5.5時間配置し、生徒の読書活動を支援した。協力員は、図書室や書架の清掃、準備室の片付けなど図書室の開室の準備を行なうとともに、司書教諭の指導によって、図書室開室のお知らせの作成や図書の紹介コーナーの設置、図書館だより発行の補助などを行った。また、図書検索システムを活用して本を探したり、先生方のブックトークの補助を行なうなど学校の授業への支援につながり、利用の活性化が図られた。学校図書室の開室日数の調査の結果をみると、開室日数が増加している。貸出冊数についても、4月から7月までは1,667冊であったが、10月から1月までは2,974冊と、1.78倍の利用があった。

2. 学校図書館図書配送システムの試行について

効果的な物流の在り方を検討し、各学校及び市立図書館との相互貸借を実施するために、配送システムの試行を行った。これまでは学校の教諭が市内の図書館まで図書の貸出・返却に来館していた。今回の試行では、中央図書館および花小金井図書館と、市内の小学校19校、中学校8校との間の配送を、平成19年1月13日（水）から3月14日（水）までの毎週水曜日、9回実施した。試行内容は、小中学校から市立図書館へ依頼のあった調べ学習など教科学習用図書の団体貸出で、小学校13校のべ26回、中学校4校のべ8回で、2,344冊の配送に利用された。小学校に比べ団体貸出の利用が

少なかった中学校からの利用もあり、配送システムの試行によって市立図書館の図書を利用した授業への支援ができた。

V 調査研究の取組の課題について

生徒が教科学習等において図書館をより活用するためには学校のより積極的な姿勢が求められる。

- ・学校が主体となって図書館を学習センターとして整備していくためには、学校長の図書館活用への理解が必要である。
- ・学校との市立図書館との連携を図るための綿密な調整が必要である。

学校図書館の図書配送システムの試行については効果的な物流の在り方と、各学校及び市立図書館との相互貸借の実施を検討する。

- ・配送便による学校から市立図書館に貸出依頼がある資料は、授業時期が重なるためすべての求めに応じることが難しい場合もある。図書館での学校貸出用資料の充実が必要。
- ・調べ学習用図書等について、借受図書等を参考にしながら学校図書室の蔵書を充実させることも重要である。
- ・司書教諭により各学校での授業時期がわかるような資料を作成して、学校間での貸出の可能性を探るとともに、学校間の配送についても検討する。

VI 調査研究会議の開催状況について

担当指導主事、教育委員会の関係部課長、協力校の校長、図書館職員、学校図書館支援スタッフによる調査研究会議を2回開催した。事業の進捗状況を確認すると共に、学校図書館支援センターの機能を充実させるための研究を進めた。

【第1回】

日 時：平成18年12月7日(木)

場 所：中央図書館 会議室

出 席：教育長 委員7人 事務局 図書館長補佐 支援スタッフ

議事内容：小平市の学校図書館支援センター推進事業の概要

事業の進行状況について

具体的な学校図書館支援の進め方について

今後の先進市視察について

【第2回】

日 時：平成19年3月15日(木)

場 所：中央図書館 会議室

出 席：委員 事務局 図書館長補佐 支援スタッフ

議事内容：平成18年度の事業経過について

学校図書館に関する調査結果について

平成19年度の小平市学校図書館支援センター推進事業について